

かながわSDGsアクション フードドライブ・ オンライン説明会



県作成フードドライブ
IPROG

9月27日県の未来戦略本部がSDGs推進の社内フードドライブを呼び掛けたオンライン説明会には100人以上が参加。県作成の「社内フードドライブ実施マニュアル」の紹介、実施例を説明。10月の食品ロス削減月間啓発ツールとしてメッセージ動画も作成されている。食品についての具体的な質問にはフードバンクかながわ藤田事務局長が説明した。各社の活動は県のホームページで紹介される。その後フードバンクにいくつかの問い合わせがあった。



[SDGsアクションに向けたフードドライブ活動の実践 - 神奈川県ホームページ \(pref.kanagawa.jp\)](http://www.pref.kanagawa.jp)

給食用冷凍食品とパン

横浜市内の小学校は対面とオンラインの分散型授業になり、給食の冷凍食品、パンなどに余剰が出た。パンは寿町カナンキリスト教会を通じて寿町に、冷凍イワシの開き・シラタキなどは学童保育とこども食堂につないだ。



かわさき生活クラブ 理事*職員3回連続研修



湘南・さがみ 生活クラブの理事研修



中栄信用金庫フードドライブ 3,565個 1.2ト

秦野市の中栄信金では、16支店でフードドライブ活動を実施した。秦野市・伊勢原市・平塚市・開成町への周知活動により、伊勢原市はホームページに掲載、平塚市は市役所掲示板にポスター掲示。また町内会に回覧板でチラシ添付。タウン誌、神奈川新聞、社協への周知活動を行い、大きな成果を上げた。

また支店のある自治体でフードバンクかながわに登録済の子ども食堂への助成制度を設け、現在5こども食堂が申請中。

金融庁の備蓄品 133kg

霞が関で受け取り。
牛大和煮・ウインナ
などの缶詰類



ユーコープの米一合プロジェクト

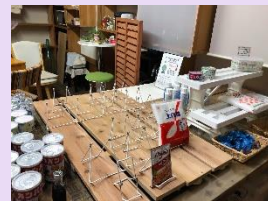
県労福協と連合神奈川が呼びかけた米一合運動をヒントに、生協ユーコープ湘南2エリア会では、米一合プロジェクトを展開した。手作りのチラシで活動をアピール。75kgが9月8日にエリア会高橋久美さんから届けられた。

「通信24号がきっかけで、米1合プロジェクトを企画出来たこと、とても嬉しく思っています。今回はユーコープの3店舗だけでしたが、既に多くの組合員、職員の共感を得ているので、冬のフードドライブ時期には全エリアで開催出来たらいいなあと思っています。」(高橋さん)



CoCoLoの会 無料food@沼間 毎週月曜に開催

逗子市でオール地域で子どもを育てようと11年活動するCoCoLoの会の吉原さんから「もったいないがありがとう」になるコーナー・無料food@沼間では若い人の来場が増え、早速テーブルが空になったと連絡があった。フードバンクかながわまで食品を取りに来るボランティア募集など地域連携で運営す



第2回フードバンク活動政策研究会

「コロナ禍での学生の状況と支援」

横浜市立大学ボランティア支援室コーディネーター柳本薫さんを迎え、オンライン併用で開催した。コロナ禍での学生の状況、大学・フードバンク・社協等の食支援連携について報告いただいた。(メッセージ欄を参照)

「今日は重くて持ってきた袋に入らないくらい！うれしい！！なるべくお金を使わない生活を考えていて、週5日自炊している。実家にもまったく帰っていない。アルバイトは塾講師をやっているが、コロナで先生の人数を減らされて、今はほとんど入れていない。」
紹介された理学部3年男子のコメント



農水省事業による子ども食堂へ米支援 5.2ト



コロナ感染症により需要先が消失した事業者の新たな活用促進支援「国産農林水産物等販路開拓緊急支援事業」を活用し、子ども食堂利用の小・中学生に、一人1回3kg、2回まで提供。JA全農京都がコーディネートし(株)かね正アグリシステムが実施主体となった。



(2020年度実績 寄贈 210トﾝ・提供 194トﾝ)

基本情報 2021年度の累計 (2021/9/30現在)



寄贈食品計	111.6トﾝ	提供食品計	603回	115.1トﾝ
企業・生協等	71.4トﾝ	行政・社協	302回	23.7トﾝ
フードドライブ	31.2トﾝ	地域フードバンク	233回	34.5トﾝ
寄付金購入	9.0トﾝ	こども食堂等	503回	39.6トﾝ
他に仕分け作業中フードドライブ3トﾝ		支援施設等	27回	1.6トﾝ
8月寄贈 29.8トﾝ 提供 20.5トﾝ		福祉・病院・外国	169回	15.7トﾝ

合意書締結団体

寄贈締結団体	195団体
提供締結団体	252団体
行政・社協	56団体
市民団体	196団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)	

賛助会員寄付状況

団体会員	195団体	632口
		632万円
個人会員	280人	1,406口
		1,406千円
寄付		
2021年度	7,293,321円	
累計	43,428,418円	

9月の状況 9/1~9/30 寄贈 23.7トﾝ 提供 27.4トﾝ

寄贈 23.7トﾝ (他未仕分けあり) 提供 145団体、211回、27.4トﾝ

団体別	提供重量	団体別	提供団体	提供回数	提供重量
企業・生協・JA等	14.9トﾝ	行政・社協	30団体	46回	5.5トﾝ
フードドライブ	5.8トﾝ	地域のフードバンク	24団体	38回	6.5トﾝ
未仕分けフードドライブ	3.0トﾝ	こども食堂等	68団体	94回	10.2トﾝ
		自立支援施設等	4団体	5回	0.3トﾝ
		福祉・病院・外国関係	18団体	28回	4.9トﾝ

「食の支援」⇔「学生のボランティア活動」
＝フードロスの削減

「食」をめぐるサイクルを回し、フードロス削減を!

横浜市立大学ボランティア支援室
コーディネーター
柳本 薫さん



令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症拡大により、本学では一時金の支給など、生活が困窮する自宅外の学生に対し支援を行ってまいりましたが、未だ厳しい状況が続いています。

そこで、フードバンクかながわ、金沢区社会福祉協議会の皆様にご協力いただき、令和3年3月26日に、本学初の「食の支援」を実施しました。当日は150余名の学生が来場しましたが、ヒアリングとアンケートの回答からも、厳しい状況の回復には時間を要すること、新型コロナウイルスの感染状況に左右されていることを実感した次第です。

そのため、令和3年度では継続的に「食の支援」を行うこととし、去る9月24日には、令和3年度3回目の「食の支援」を実施しました。この間、余剰食品を抱える企業の皆様からお申し出をいただくなど、多くの方々のご支援をいただいております。皆様にはこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

一方、フードバンクかながわ様と連携する中、私たちは「フードロス」の課題も目の当たりにすることとなりました。そこでボランティア支援室では、集まった食品の仕分け作業を学生ボランティアが手伝うことで、少しでもスタッフの方々の負担を減らし、結果としてフードロスの削減に貢献することを目的に、フードバンクかながわ様でのボランティア活動を全学生に呼び掛けています。また、「支援を受けることもフードロス削減の解決につながる」と、支援を受けることをポジティブに捉えてもらえるよう、学生に伝えています。

今後も継続的な「食の支援」を行いながら、「フードロス」の課題にも向き合っていきます。

寄贈 紙幅の関係で敬称略で報告します。

事業者寄贈

かね正アグリシステム：米5.2トﾝ、パルシステム：米6トﾝミツハシライス：米0.6トﾝ、ユーコープ：食品1.3トﾝ、日生協：炊き込みご飯の素など0.9トﾝ、日本食研：たれつゆ66kg、セブン&アイ：キャンディ52kg、横浜北川製館：あんこ37kgほか

提供

○行政・社協
横浜市ひとり親支援1,342kg、相模原市学生支援・ひとり親支援575kg、フードリンクあやせ416kg、海老名市フードバンク405kg他

○フードバンク
中区カナンキリスト教会：1トﾝ、瀬谷区お福分けの会567kg、瀬谷区来店型くろーばーマーケット492kg、大和市さくらの森410kg、横浜市浜っ子南：339kg、フードバンクふじさわ：231kg、大和市ユナイテッドかながわ：209kg

○こども食堂等
裏面掲載農水事業活用米で利用量が伸長。ノヴィーニュこども食堂1.2トﾝ、平安ふれあい食堂727kg、横浜朝鮮初級学校597kg、アフリカヘリテイジコミュニティ596kg、キッチンうめちゃん490kg、たいしょう食堂386kgなど

○外国につながる人々の支援
ブラジルソリダリオは備蓄品2トﾝを含み3.97トﾝ利用。

防災備蓄品

横浜銀行：アルファ米2トﾝ、オリエンタルランド：炊き出し用1.5トﾝ、富士フィルム生協：レトルトごはん他547kg、東京海上火災：パン缶194kg、富士通マジックライス173kg、金融庁：大和煮缶他133kgほか

フードドライブ

個人：22回500kg、イトーヨーカドー18店舗1.1トﾝ、ユーコープ80店舗4.3トﾝ、パルシステム神奈川3.9トﾝ、無印良品15店舗236kg、中栄信金16店舗1.2トﾝ、そうてつローゼン7店舗627kg、他(未仕分け分有)

県庁419kg



三浦半島労福協 360kg



JA中央会47kg



湘南戸塚YMCA 20kg



関係団体夏の
フードドライブ

ユーコープ

4.3トﾝ

パルシステム神奈川

3.9トﾝ

406kg
前年10%
up

生活クラブデポー

